



新聞記事データベース「朝日けんさくくん」の活用

—アクティブラーニング型授業における活用へ向けて—



高瀬 敏樹

<抄録>

本校では総合的な学習の時間に、共通教科情報科や学校図書館と連携しアカデミックリテラシーを養成するための学習活動を取り入れている。目的は仕事・社会への円滑なトランジション（移行）である。当初は、情報源の1つとして新聞の活用に取り組んだが、2005年度より新聞記事データベースを導入したことで、より多様な授業形態に組み込むことが可能となった。

共通教科情報科と総合的な学習の時間での実践事例を紹介する。

<キーワード>

学校図書館、新聞記事データベース、NIE、共通教科情報科、総合的な学習の時間、アカデミックリテラシー、メディアリテラシー、アクティブラーニング型授業

1 はじめに

本校は、1958年に市民の開設運動が実って開校した札幌市立の単位制普通科高校である。在籍生徒数約970名で、卒業生のほぼ全員が大学等へ進学する。

学校図書館は2フロアからなり、1階に開架・閲覧スペース、貸出しカウンター、図書検索用PC、司書室、書庫がある。2階はメディアコーナーとしてPCが43台、電子黒板、無線LANアクセスポイント、カラーレーザープリンタ、B0ノビ対応大判プリンタ等が整備されており、19時まで開放している。

総合的な学習の時間はメディアコーナーで、共通教科情報科の授業は、隣接のiMacが43台整備してあるパソコン教室で行っている。

2004年度、2005年度は日本新聞協会のNIE実践指定校として、その後は日本新聞販売協会の「すべての教室へ新聞を」運動により毎日5種類の新聞の提供を受けているため、生徒はいつでも複数紙を比較読みできる。

当初は縮刷版や司書が作成するカテゴリ別のスクラップブックを活用していたが、縮刷版は保管場所や検索性の問題があり、スクラップブックは作成の手間が膨大なため、2005年度から新聞記事データベースを導入した。

本稿では活用事例とその効果について紹介する。

2 使用データベース

紙媒体の新聞同様、一紙だけを情報源とするのではクロスチェックができないため、複数紙を比較できるよう、予算の許す範囲内でできるだけ多くの新聞記事データベースにアクセスできることを最も重視している。そのため、朝日新聞記事データベース「朝日けんさくくん」や読売新聞の「スクールヨミダス」は、校内の教育用コンピュータから同時に50台アクセスができるよう環境を整備した。さらに日経テレコン教育用データベース普及版を10アカウント契約しているが、利用料金が高額なため、利用を希望する生徒にはユーザIDとパスワードを印字したアカウントカードを貸し出す方法をとっている。

3 導入教育

どの教科でも活用できるよう、新入生全員へ配布する「図書館利用の手引き」や、総合的な学習の時間内の図書館オリエンテーションで紹介を行い、共通教科情報科の授業「社会と情報」において利用方法の詳細を学ぶ。

4 共通教科情報科での取り組み

「社会と情報」（1年次必修2単位）の中では、主に「情報とメディアの特徴」の部分で、信憑性の高い情報入手手段の1つとして、下記のような新聞記事データベースのさまざまな利用法を学習する。

- ① 基本
 - ・アクセス、ログイン方法
 - ・キーワード検索方法
 - ・ナビ検索 ※朝日けんさくくん
 - ・びっくあっぷ ※スクールヨミダス
 - ・印刷、引用方法
- ② 応用
 - ・検索式の使い方
 - ・「言葉の広がり」を調べる
 - ・「言葉のはじまり」を調べる
 - ・特定の日の特定の記事を調べる

TAKASE, Toshiki : 北海道札幌旭丘高等学校（札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5-18）

- ・記事を要約する
- ・記事の見出しを考える

授業後の生徒の感想の主なものは、「初めてデータベースのメリットがわかった」、「紙面では読みにくい記事もパソコンの画面で見ると身近に感じられた」、「調べたい事柄を効率よく検索できた」、「AND, OR, NOTの使い方がわかった」、「レポート作成で利用したい」、「普段は新聞を読まないが、キーワード検索できると知りたい情報のみ簡単に探せるので興味が湧いた」、「新聞社の考え方の違いがわかった」など、ほぼ全員の生徒がその有用性を理解し、「総合的な学習の時間」での活用イメージができたようだ。

また、「朝日けんさくくん」の「日替わり学習」は適度の困難性があるためかとても好評だった。

「社会と情報」ワークシート 【新聞記事データベースの活用】 2015年度版

出席番号(5桁) _____ 氏名 _____

次の新聞記事データベースを利用して、各課題に取り組みなさい。

- ・朝日新聞記事データベース「朝日けんさくくん」(ユーザーID: _____, パスワード: _____)
- ・読売新聞記事データベース「スクールヨミダス」(ユーザーID: _____, パスワード: _____)
- ※Publicドライブにショートカット(エイリアス)アイコンあり。

1. 「地球温暖化」という言葉を含む記事が1年間に何件あったかを、下表に記入しなさい。

Advice: 期間は該当年の1月1日から12月31日まで。

年	1967	1968	1969	1970	1976	1977	1978	1979	2000	2012	2013	2014
記事数 (朝日)												
記事数 (読売)												

・記事数の推移や記事の内容から考察したことを箇条書きしなさい

2. 下記の用語が初めて朝日新聞の第1総合面に取り上げられるようになったのはいつからなのかを、朝日新聞の朝夕刊を利用して調べなさい。

Advice: 画名を指定し、検索結果表示を「古い」順にするとよい。

(1) スマートフォン _____年____月____日

(2) スマホ依存 _____年____月____日

(3) ネットいじめ _____年____月____日

(4) IoT _____年____月____日

(5) 狂牛病 _____年____月____日

(6) ゆとり教育 _____年____月____日

(7) 個人情報保護法 _____年____月____日

3. 朝日新聞のコラムは「天声人語」です。自分の誕生日の「天声人語」を検索して本文を読み、内容の要約と自分の感想を入力しなさい。 ※誕生日が新聞の休刊日等で掲載されていない場合は前後の日付で検索すること。

Advice: 記事検索を使用し、検索期間は自分の生年月日のみに限定するとよい。

(要約)

(感想)

写真1 ワークシートの一部

5 総合的な学習の時間での取り組み

本校の総合的な学習の時間は、読書活動、進路探求学習、個人課題研究で構成されている。大学へのトランジ

ションを円滑に行うため、アカデミックリテラシーの養成にも力点を置いている。毎時間アクティブラーニング型授業が展開されており、発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等を行うにあたって、新聞記事データベースが情報源の1つとして活用されている。グループ・ディスカッションやグループ・ワーク等での資料や論拠として用いられることが多い。

6 まとめ

「社会と情報」「総合的な学習の時間」以外でも、小論文やAO入試、面接等の対策や信頼性の高い情報入手手段の1つとして活用されている。

学校図書館内の42台のPCでいつでも複数紙の新聞記事データベースが利用できる学習環境は、生徒に新聞を身近な存在にすることができ、情報科において適切な指導を行うことにより自然とクロスチェックする習慣が身に付きメディアリテラシーの向上につながる事がわかった。

7 おわりに

平成27年6月に、選挙権年齢を満18歳以上に引き下げた公職選挙法改正法が成立したため、総務省と文部科学省では、政治や選挙等に関する高校生向け副教材「私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために」を作成し公表した。教師用指導資料の中では、新聞の活用を推奨する一方で、使用に関して「異なる見解を持つ複数紙を使用すること」などを求めている。

学校図書館において新聞はもとより、新聞記事データベースも複数の新聞を検索できる環境の整備は急務である。

【参考文献】

- ・文部科学省「高等学校学習指導要領解説 情報編」, 文部科学省, 2010年
- ・日本新聞協会(編)「学習指導要領に沿って 新聞活用の工夫提案 NIEガイドブック高等学校編」, 日本新聞協会, 2013年
- ・溝上慎一・松下佳代(編), 『高校・大学から仕事へのトランジションー変容する能力・アイデンティティと教育ー』, ナカニシヤ出版, 2014年
- ・溝上慎一, 『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』, 東信堂, 2014年
- ・総務省・文部科学省「私たちが拓く日本の未来 有権者として求められる力を身に付けるために 活用のための指導資料」, 総務省・文部科学省, 2015年